

着々と工事が進む木太鬼無線
鶴市工区＝3月12日撮影



コミ協部会に入ろう

高松市には、おおむね小学校区ごとに、地域コミュニティ協議会という自主的なまちづくり活動をしている住民組織があります。現在、高松市内には44地域あり、高松市すべての地域で組織されています。

地域コミュニティ協議会とは

でき、活力あふれる住みよいまちとなるよう、さまざまなアイデアを出し合い、協力し合って地域を盛り上げていきます。

弦打校区コミュニティ協議会では、自治会をはじめ、キッズクラブ、老人クラブ、体育協会、消防団、市民活動団

★「コミねっと高松」ホームページより一部転載

変わる弦打 あなたが変える

待ちに待った市道木太鬼無線鶴市工区(639号)の完成が間近になり

ました。西春日工区(1339号)トンネル部分を含む)と同時の供用開始で、弦打にとつて産業道路(県道176号)全通以来の交通大動脈の誕生です。

国の登録有形文化財で、大正時代中期の建築美を今に伝える水道資料館(鶴市町御殿)。耐震化工事に遅れが出ていま

すが、来年早々にもオープンの予定です。これらの新たな「宝」を生かして、もっと住みよい弦打の明日と一緒に考えましょう。

防災部会

近年大規模災害が多発し、もはや災害はいっわが身に起きても不思議ではありません。

災害の規模が大きくなればなるほど「自助(自分の身は自分で守る)・共助(力を合わせて助け合い、自分たちのまちを守る)」が重要となります。普段から近隣の方と顔見知りになり、地域での協力体制を作ることが必要です。



このことから防災部会では「災害発生時にみんなで協働できるまちづくり」をテーマに掲げ、た

めになる防災知識の学習や、実践的な防災訓練を通し、地域の防災リーダーとなるよう取り組んでいます。

3月10日には香川大学特命教授を迎え、「地域を知る防災」と題し、南海トラフ巨大地震と大規模水害を想定した複合災害图上訓練(DIG)を行いました。写真。

「防災をきっかけに、楽しく地域の安心を広げる仲間を募集しています。」

生涯学習部会

生涯学習部会は、弦打の子どもから高齢者までの生涯学習に関し、みんなの幸せに少しでも寄与できたらと活動しています。

活動は、コミュニティセンター講座の企画に協力する中、部会独自の事業として弦打のさまざまな場所を訪ねたり、近所の里山に登る「ふるさと学習探検隊」「里山ハイキング」や、幼児・小学

生から高齢者までの演奏会「さわやか音楽会」写真を開催するほか、家庭の教育力を向上させ、子どもたちの健やかな育ちにつながる「家庭教育講座」などを実施します。



また、「弦打風土記」(昭和44年刊)の続編を出版するため、「弦打風土記・続編」に関する調査を進めていきます。

毎月第3月曜日の午後7時から、弦打コミュニティセンターで定例会を開いています。かかわってみたいと思われる方の参加をお待ちしています。